

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年9月15日		
所属学部	工学研究科		
所属学科・専攻	建築・都市科学専攻	学年	博士前期課程2年

1. 留学先について

留学先大学名	POLITECNICO DI MILANO		
留学先所属学部等	SCUOLA DI ARCHITETTURA E SOCIETA		
留学期間	出発日 2014年8月28日	入学日 9月1日	修了日 8月3日 帰国日 2015/8/11
住居	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	15分	<input type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	トラム	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (キッチン・バス・トイレ) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 80 %	学食 %	外食 20 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン留学保険	
	大学指定の保険(名称)	<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)		
	成田	⇄ [行き]モスクワ[帰り]イスタンブール(飛行機)	⇄ ミラノ(飛行機)

2. 留学にかかった費用について

総費用	2500000	円	* おおよそでかまいません。		
出処					
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト 150000	円 <input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 1070000	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 960000	円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金 320000	円	<input type="checkbox"/> その他()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="checkbox"/> 現金	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円 <input type="checkbox"/> その他()
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他()	新生銀行

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	0
住居にかかった費用	€ 6,000
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

渡航費(往復)	外貨	€ 940	円	127000
海外旅行保険	外貨		円	120000程度
OSSMA	外貨		円	20000程度
査証・在留許可証	外貨	€ 150	円	20300
住居	外貨	€ 6,000	円	812000
食費	外貨		円	
通学に要する交通費	外貨	€ 200	円	27000
教科書、教材費	外貨	0	円	0
その他大学に支払った経費	外貨	0	円	0
光熱費	外貨	0	円	0
その他 (旅費)	外貨	不明	円	
その他 ()	外貨		円	
その他 ()	外貨		円	
その他 ()	外貨		円	
その他 ()	外貨		円	

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位認定の有無	
1 TOWN PLANNING DESIGN WORKSHOP	聴講	0	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2 SOCIOLOGY OF URBAN SPACE	聴講	0	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
3 ANALYSIS AND ASSESMENT OF URBAN TRANSFORMATION	聴講	0	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
5			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
6			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
7			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
8			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
11			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
12			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
13			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
14			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
15			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
16			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
17			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
18			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
19			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
20			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

登録開始日が定められていて、そこから早い物順に登録できる。満員になり次第履修登録が打ち切られる。WORKSHOPの授業に関しては、派遣留学生は各授業5人までと決まっています、非常に枠が厳しい。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業はどれも100人～150人ほど。学生数がとにかく多い。1 Semesterにわたり、講義→グループワーク→プレゼンテーションの流れが基本で、授業の時にフィードバックを受ける。個人的な感想としては、千葉大学の大学院で学んでいる内容と大きく相違はなく、むしろ千葉大の少人数制の方が効率が良くオリエンタリティが高いと感じた。

3-3. 語学力について

英語が話せれば問題はない。ディスカッションなどでは流暢な英語力が無いとついていけなくなるが、意外となんとかなる。イタリア人がグループに複数人いる場合は、議論が白熱するとイタリア語で話始めるので、イタリア語の知識もあるに越したことはない。

3-4. 図書館など学内施設について

キャンパスのキャパシティに対して学生が多すぎるのと、設備の更新が追いついていないため、席数不足やWIFIが繋がらなかつたりする。なので家で出来る作業は学校に行かないで家ですることが多かった。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

10畳ほどの個人部屋で、キッチンバストイレが共用。同居人はコロンビア人が1人。最初1ヶ月通った語学学校の斡旋で紹介してもらった。自力で探すよりも、そういう場所を頼ったほうが信頼性も高いしなにより簡単。ミラノの中でも新しめのアパートで、部屋もリノベーション仕立てということで何もかもが新しく、何ら不具合なく快適に過ごせた。

4-2. 食生活について

自炊がほとんど。イタリア料理と日本食を半々くらいの割合で食べていた。日本食材も、中華街で大体のものは手に入るの、何ら心配することはない。ミラノは物価が日本よりも高いので、外食は高くつく。だが、イタリア料理はやはり美味しいので、外食も比較的していた。あとは、ケバブが安く食べられるのでよく利用していた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

部屋にはWIFIが飛んでいて、その分の料金も家賃に含まれていたの、とても便利だった。携帯電話は、日本でSIMフリーのスマートフォンを購入しイタリアでSIMカードを契約したが、これが正解だった。携帯電話の料金に関しては、日本よりとても安いし、接続状況も何ら問題はないが、携帯ショップが最後まで悩みの種で、料金を払っても店員に着服されてちゃんとチャージされなかったりなどのトラブルが多かった。

4-4. 服装について

夏は日本より涼しく、冬は日本より暖かいので、とても過ごしやすい。日本で着ている服装と同じで何ら問題はない。

4-5. 健康管理について

幸い病院にかかったことはなかった。日本にいる時よりも体調を崩さなかったので、自分にとってとても適した気候だったのだと思う。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

無し

4-7. 課外活動について

POLITECNICO DI MILANOの研究室へのインターンシップ・ミラノ万博でのボランティア・アルバイト、展示会やイベントのアルバイトなど、とても充実していた。特に、アルバイト関係については、学生ビザで労働が許可されている国に限るが、イタリアで働いている日本人のつてをたどると見つかる場合が多いので、日本人コミュニティは大切にされた方が良い。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外とのコミュニティの方が多かった。特に、ミラノで働くイタリア人ととても仲良く、その友人を通じて、たくさん現地の友人ができた。

4-9. 日本から持参してよかったもの

SIMフリースマートフォン

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

単語帳など語学参考書/日本食材/十分な衣服/

4-11. 現地での対人関係について(習慣の違い、マナーなど)

食事はとりわけない/よくしゃべる/空気を読む文化がない/ピザとワインは食べ合わせが悪いなどなど。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

20140906-20140907 Verona
20140915-20140916 La Spezia, Cinque Terre
20141012 Bergamo
20141024-20141027 Venezia
141213-141216 Munich
141222-141225 Praha
150104-150106 Courmayeur
150218-150224 Venezia, Wien
150228-150303 Roma, Napoli
150325-150405 Paris, Orlean, London, Gragrow, Edimburgh
150424 Cremona
150511 Mantova
150515-150516 Torino, Asti
150520-150521 Bolzano
150523-150526 Budapest
150528 Alba, Barolo, Barbaresco
150605-150608 Bologna, Siena, Firenze
150615-150624 Praha, Kutna Hola, Dresden, Krakow, Warsaw
150724-150726 Punta Ala, Montalcino
150803 Parma, Piacenza
150804-150805 Molbegno, Verceia, Lugano
150805-150807 Venezia

費用は不明

その他

5. 報告

5-1. 留学先大学について(150~200文字)

ミラノ工科大学の主な良いところとしては、イタリア屈指の大学なので教授陣は本当にタレント揃いで、留学生も多いです。もちろん、英語での授業がとても充実していて、英語圏ではないからといって不便はありません。建築学部はキャンパスも市内のとても便利な立地にあり、オススメです。欠点は、ものすごい学生の数でキャンパスの設備が常に飽和状態で授業も1クラス100人前後。日本の国立大学に通っている学生にとっては最初は戸惑うかと思います。

5-2. 留学中の様子(450~500文字)

私の留学中の目標は主に4つありました。1.大学の授業 2.イタリア人建築家の元で指導を受けること 3.アルバイトなどの就業体験 4.イタリア人の友達を作って日英伊のトリリンガルになること です。留学生活前半は主に大学の授業を取りつつ、イタリア人建築家の元でインターンシップに行き指導を受けていました。留学後半はイタリア語もある程度話せるようになりイタリア人の友達の輪も広がって、ミラノで行われるイベントやミラノ万博の日本館でアルバイトをしたり、旅行や遊びに出かけたりしていました。そのためか、現地の友達はイタリア人ばかりだった気がします。日本人の友人にも恵まれ、定期的にお酒を飲みに行ったり、何かトラブルに巻き込まれた時などは皆で支え合いながら生活をしていました。留学サブテーマとしては、イタリア料理やワインの研究?をすることで、イタリア語で出版されている料理本などを買いあさり、食事はもっぱら自炊でどうやったら本場のイタリア料理を作れるようになるか試していました。またワイナリーに見学に行ったり、市内のエノテカ(ワインバー)でワインを飲んだり…飲んだワインの数は1年で150種類を越えました。

5-3. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

留学希望者の方にアドバイスすることがあるとすれば、主にこの4つです。

- ・遊びに行く気で行ってきてください。
- ・英語圏の国よりも、その他母国語がある国の方がギャップが大きく面白いです。
- ・物価が高い国は半端じゃないので、生活費はしっかり考えたほうが良いです。(北欧・イギリス・スイスなど)
- ・大学の勉強やお金の心配をせず、遊ぶときには思い切って遊ぶことです。外の世界をこの年齢で見られることの有難味がどれほど大きいかも実感しています。

私の留学していたイタリアは、北ヨーロッパとは全く違った文化や時間が流れている国でした。料理は美味しいし人もとてもあたたかいです。多少の治安の悪さはありながらも、のんびりした雰囲気です。留学や働いている日本人はみんなイタリアが大好きです。

5-4. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

留学を終えて、とても世界が近くなりました。個人的に留学という言葉が嫌いです。というのも、本来留学というのは、遊びに行く感覚で出来るべきものだと思っていますが、なんだかこの留学という言葉とその日本人の抱くイメージが、留学に行きたい学生を減らしているように感じるのです。なんだか他の言葉がないかと考えている次第です。実際EUの学生たちは、本当に気軽に遊びに来ている感じです。勉強もし、よく遊び、もちろん本当に遊びにきて勉強しない人もいます。でもどの人達の生活も間違っているわけではなくて、それぞれ異国の地で様々なことを感じ、学んでいるのだと思います。

自分自身は、決して大学に皆勤する人が模範的な留学生ではなかったですが、1年以内という限られた時間のなかで、とても多くの経験が出来て、勉学に加え人生においてとても大切なことを学んでこれたと思っています。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2014.1作成版